



“これぞ島豆腐”と絶賛される新川豆腐

昔、新川では豆腐製造は生計の足しとして、盛んに行われていました。現在では数少なくなりますが、おいしい島豆腐を生産しています。

伝統手法を大事にし、手搾りと薪を使用している所もあります。

昔は良質な水を得るため、遠くまで水汲みに行きました。

ゆし豆腐

ウチナーが誇る自然食。スーパーなどで売られている定番商品。



ゆし豆腐一口メモ

沖縄独特のゆし豆腐は、あつあつでそのまま食してもおいしいです。

1. きざみねぎ、すりしょうが、しょうゆを少量加える

2. コーレーグース（沖縄の香辛料）を適量加える

など、「家庭の味」として親しまれています。

モデルコース

Aコース

120分



- 那覇・南風原クリーンセンター周辺 ⑨
- 新川嶽（ウガンジュ） ②
- 環境の杜ふれあい ⑩
- ウフ橋 ③
- シチャーラ橋 ⑧
- 第62師団野戦病院壕跡（ナゲーラ壕） ①

Bコース

90分



- 共同井戸・御殿井戸 ⑤ ⑪
- 公文書館 ④
- 県立南部医療センター・こども医療センター ⑥
- シチャーラ橋 ⑧
- 第62師団野戦病院壕跡（ナゲーラ壕） ①

新川

人口(男).....1,040人
(女).....1,097人

【合計】 2,137人

世帯数.....914世帯
面積.....117.4ヘクタール
(東新川の面積含む)

東新川

人口(男).....99人
(女).....92人

【合計】 191人

世帯数.....95世帯

[2010(平成22)年12月現在]

発行：特定非営利活動法人南風原平和ガイドの会
2012(平成24)年3月

住所：沖縄県島尻郡南風原町字喜屋武257
南風原町立南風原文化センター内
電話・FAX：098-889-2533

平成23年 沖縄県雇用再生特別事業「シマじまガイド事業」

新 arakawa 川

涼風が吹きわたるムラ



古都と海の見える丘



特定非営利活動法人 南風原平和ガイドの会

1 第62師団野戦病院壕跡



遠景



壕入口（半分崩れています。）

通称ナゲーラ壕と言われているが、地元ではシチャーラの壕と呼ばれている。沖縄戦の第一線で米軍と戦火を交えた日本陸軍第62師団（石部隊）の野戦病院壕跡。首里高等女学校生と昭和高等女学校生が日本軍に動員されましたが、今では訪れる人も少ない重要戦跡の一つです。

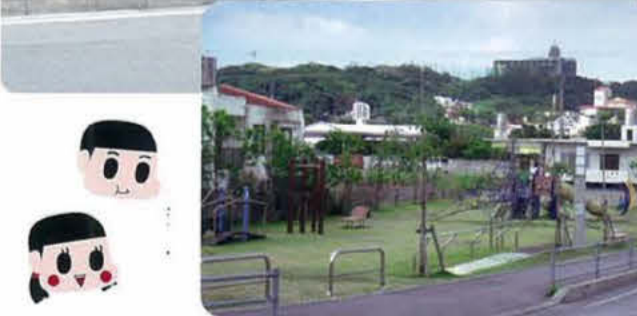
8 シチャーラ橋



琉球石造技術の粋を結集して与那原街道のナゲーラ川に架けられた橋。東御廻（アガリウマイ 東方の聖地巡礼）や歴代の間得大君の（ウアラウ 御新下り）にも利用されました。



7 新川コミュニティセンター



太陽光を取り入れた自然に優しい集会所、新しい新川の顔のひとつです。道路を隔てて前方に、滑り台、ブランコなどの遊具を備えた新川公園があり、親子で楽しめる空間です。

2 新川嶽（ウガンジュ）



那覇・南風原クリーンセンターへのアクセス道路脇に鎮座し、他地区の人達の参拝が多いです。東新川区では、節目のウガミを有志がしています。

3 ウフ橋



“環境の杜 ふれあい” から下って行くと王国時代の石造技術を伝える三つの石組みのアーチ型石橋が現存。琉球政府時代に嵩上げ補強されました。

4 沖縄県公文書館



赤瓦の寄棟造りの美しい建物です。琉球王府時代・明治・大正・昭和・米国統治時代の歴史的資料が保存されています。特別展示会も開催されます。
“那覇バス” 新川線ターミナルから徒歩2分

5 共同井戸



水神祭（旧9月9日、ウマチーヌウガン）10番目のウガン所。
昔、集落の人々はこの井戸で生活用水の全てを賄い、聖地の雰囲気（まかな）をだしています。



6 県立南部医療センター こども医療センター



2006年4月、沖縄県で初のこども病院を併設した総合病院として開設。災害時の拠点施設として免震構造を採用した建物で、365日、24時間高度な救急医療を行っています。有志が運営する患者家族のための宿泊施設（がじゅまるの家）も近くにあります。

9 那覇・南風原クリーンセンター



2006年4月から始動した那覇と南風原のごみ処理を引受け、高々とそびえる巨大な煙突をもつ近代的施設。煙が出ているのを見たことがありません。

ごみ焼却炉の廃熱で電気を発生させ、一部を“環境の杜ふれあい”へ供給しています。

 工場を見学することもできます。 

10 環境の杜ふれあい



使用している電気は那覇・南風原クリーンセンターから発生する廃熱や太陽光パネル・風力などを利用している未来型の健康増進施設です。
どなたでもご利用できます。

11 ヒーサ原の御殿井戸 ウドゥン ガー



1880(明治13)年、廃藩の時、首里から親雲上(王府の位階)クラスの人に移住して来て掘った井戸。

現在、天蓋で蔽われて懐かしい手押しポンプがついています。

12 殿毛の井戸 トゥンモー カー



殿井戸は石を積みまわした野井戸です。他地区の人たちのウガミの対象にもなっています。



新川区は首里高地から張り出した台地の御殿地に発達した集落で、平野部の新川地域と盆地状の東新川地域から成り立っています。

語源

アラカーバル
東新川の新川原が語源です。
湧水が多数散見され、安里川の源流にもなっています。



新川地区

平野部の新川地区は、人口が急増し都市化しました。

東新川地区

人口が少ない地域で那覇市のゴミ処理施設や墓地造成などの環境激変により自治会を設立し(平成元年1月)、住みよい環境を目指して独自の取り組みをしています。